

日本橋モラロジー事務所 概論研究会（3）

共同体

道徳共同体と概論にあったが

- ここでは単に「共同体」として研究していきたい
- 共同体とは
 - 知情意の観点から
 - 知を自らの力より、共同体から得た方が効率がよい／効果的である
 - 情を自らの力で得るよりは、共同体を通じて得た方が
内容が濃い、効率がよい
 - 意は自ら自身が行うものであるが、共同体を意識する方が効果がある
 - 2章で触れたが、自身の品性を客観的に評価するためには
共同体からフィードバックした方が効率がよい

共同体は自己とは切り離せない

- 産まれた時から、我々は共同体に中にある
 - 例えば、産院で産まれた時には病院という共同体にいて、安心して産声を上げることができる。
 - 出生届けは、14日以内に役所に届けなければならない
 - これも、地域の役場／市役所／区役所に届出ることにより、自動的に日本国民として戸籍が作られ、日本国民としてアイデンティティーが確立される
 - そのうち、保育園、幼稚園、学校という共同体で学び、遊び
 - 成人すると、就職／就社することにより、生活費を得るために共同体に属す
- つまり、共同体とは切っても切れない関係である

であれば、共同体を前提として

- まず、個を磨く
 - 知情意＋経験
- 共同体に積極的に関わって、
 - 共同体の品性をあげる
 - 共同体の発展に寄与する
 - 共同体の実力を向上させる
 - 経験は共同体からでしか得られない
- 結果として個にフィードバックされる

共同体と品性の関係

- **まず、個を磨く**
 - 知情意＋経験 ⇒ 品性が向上する
- **品性が上がると**
 - 共同体へ関与する度合いが増えてくる
 - 共同体へ／共同体からの「知情&経験」の値があがる
 - よって、個人も共同体も、その成果の品性が上がる
- **結果として個にフィードバックされる**

国という共同体の実際

- 国という共同体は国の文化に現れる

- Made in Japan

- 広く受益者に日本の文化をすり込んでいる
 - 多くのMade in Japanが愛されている
 - 品質のみならず、長年蓄積された文化が広く受け入れている

なぜか？

- 製品の質を高めようと「みんなで」考えることができるから
 - 昔から、地区単位、村単位、地域単位の共同体で考えていた→品質向上共同体
 - 例えば、祭り・花火大会・地区清掃・道路の草刈り

- Made in China

- 個人の発想や、他のものの盗用／模倣以外に品質向上の手段なし
 - 製品の質を高めようと「みんなで」考えることができない→中国共産党から禁止されている
 - 共同体で行動ができず、文化の醸成が不可能

共同体のまとめ

- **個人と社会**
 - 生きがいを見出す場
 - 自立と連帯の調和
- **人類の共生と公共精神**
 - 欲望の克服と三方よし
 - 民主主義の改善
 - 伝統文化と国民精神
- **人類社会の基礎的共同体**
 - 家族共同体の継承
 - 地域共同体の再生
 - 国家共同体の発展
- **愛国心と人類愛**
 - 国を守るための勇気と気概があるか？
 - 愛国心と人類愛はどちらを優先に考えるか？